

放送番組審議会

2021年度 第2回 放送番組審議会議事録

日時

2021年10月11日（月）13:00～14:00

場所

オンライン開催

放送番組審議委員出席者

| | |
|-----------------------|---------|
| 多治見商工会議所 専務理事 | 宮浦 哲也 様 |
| 多治見市役所 企画部 秘書広報課 課長 | 伊藤 香代 様 |
| 土岐市役所 市長公室次長兼秘書広報課 課長 | 林 寛 様 |
| 瑞浪市役所 総務部 企画政策課 課長 | 加藤 昇 様 |
| 特定非営利活動法人Mama's Café | 浅井 陽子 様 |
| マプラスぼっぼ | 竹内 理奈 様 |

計 6 名

事務局

| | |
|--------------|--------|
| 代表取締役社長 | 福村 郁夫 |
| 常務取締役 | 倉地 公彦 |
| 技術・放送部 部長 | 福富 正浩 |
| 制作・報道グループ 課長 | 佐伯 さほり |
| 係員 | 岡村 友博 |
| 係員 | 加藤 久美 |

議 事

1. おりべネットワーク株式会社 代表取締役社長挨拶
2. 委員長挨拶 開会宣言
3. 報告事項
 - ①全国高校野球選手権岐阜大会 生中継の実施報告
 - ②「やくならマグカップも+やくも百景」再放送報告
 - ③東海支部「自主番組コンテスト2021」コミュニティ賞受賞報告
4. 審議事項（番組視聴）
 - 1) BRAVO! BRAVA! # 4 [14分45秒] (7/10放送分)
 - 2) おりべ情報局「マイクマンと匂みっけ！」 [合計17分] (4/10、5/15、8/28放送分)
 - 3) おりべ情報局「テーマ型特集」 [合計26分] (4/10、7/10、8/14放送分)

審議事項（番組視聴）

1) BRAVO! BRAVA! # 4

<伊藤香代委員>

コロナ禍でコンサートに行けないフラストレーションの中、このような番組は貴重だと思います。この番組のおかげで地元レベルが高くパワフルな人がいると分かりました。

<林委員>

文化活動は不要不急かという社会的議論がなされたように日本は文化活動を重く考えていないようです。土岐市にも1500席程を有する文化プラザがありますが、コンサート、演劇などが催されても来る人は地元より名古屋圏の人の方が多いなど文化的活動は低調と言えます。子どもの頃から音楽など文化的なものに親しむ土壌作りが必要ですが、この番組はその土壌作りが出来る良い番組だと思いますので、今後も続けて欲しいです。

<加藤委員>

地元出身者の演奏ということでふるさと意識が醸成されました。ユニークな番組で好感が持てました。演奏も良かったです、地元出身の方が国内外で活躍されていることや、きっかけが紹介されている構成になっていたのが良かったと思います。

<浅井委員>

コロナ禍でコンサートが中止となる中、レベルの高い演奏に触れる機会は貴重です。鈴木さんは色々活動されている様なので、そのリアルな紹介映像があると良いと思いました。

<竹内委員>

鈴木信輝さんは私が所属している土岐消防音楽隊で指揮と指導をしている方です。個人的にもお世話になっているので楽しく拝見しました。私は指揮者としての鈴木さんしか知らなかったでフルート奏者としての考え方などを知ることができて良かったです。芸術文化はコロナの影響を受け、地元にも大変な思いをしているプロがいるという事を知って欲しいです。林さんもおっしゃっていましたが、この地方では、芸術文化にふれる機会があまりありません。アマチュアも特集してもらえたら嬉しいです。

<宮浦委員長>

多治見市には音楽に携わっている団体、個人が身近にいます。この番組を見るときのようにプロになっていくのが分かるので、特に若い人の励みになるのではないのでしょうか。音楽でまちづくりをしようと活動している団体もありますので、このような番組は今後も続けていって欲しいという感想を持ちました。

【事務局】

出演される方はこの番組のためだけに演奏していただくなど、かなり皆さんに協力していただいて成り立っている番組です。皆さんに良い番組と言っていただきましたので、今後は告知に力を入れてより多くの人に視聴していただけるように努力していきたいと思えます。

おりべ情報局「マイクマンと匂みっけ！」

<竹内委員>

100歳の鈴木さんが元気でグラウンドゴルフをするというのはコミュニティチャンネルならではの話題で良かったと思いました。妻木平古墳は同じ土岐市内に住んでいますが知らなかったです。歴史が好きなのでロマンを感じました。調査結果が出たら掘り下げると1本の番組が出来そうですね。サプライズ花火は有志の会によるもので、その会の人たちの思いも知る事が出来て良かったです。番組の出演者と同じ様に来年は花火がお祭りとして開催されると良いと感じました。

<浅井委員>

100歳の鈴木さんのグラウンドゴルフはアットホームな感じがして良かったです。妻木平古墳は私も土岐市ですが、こんなに家の近くに歴史的遺跡があると知ってびっくりしました。歴史好きの子どもに教えたいです。今後の展示予定などの告知があった点も良かったです。別の番組ですが、多治見のサプライズ花火の映像を見ました。それはヘリコプターからの映像があったのですが、地上からは各所から上がる花火を同時に見る事が出来ないのではある映像は良かったです。

<加藤委員>

100歳でお元気な方がいるという驚きと同時にこちらもお元気がもらえる様な、グラウンドゴルフの楽しさが伝わる番組構成になっていました。妻木平遺跡に関しては私も存在を知らなかったのですが、丁寧に紹介していて、テロップなども入れて分かりやすく伝えていた点が良かったです。土岐・瑞浪の花火はコロナ終息を願っての花火であり、有志の尽力という事で地元愛が伝わってきました。

<林委員>

マイクマンの取材対象がどれも土岐市に関連していたので楽しく見ました。100歳でゴルフはすごいですね、本当に驚きました。妻木平遺跡は複数の時代の遺跡が出てきたという事で日本でも有数の価値ある遺跡と聞いています。この様な題材を取り上げて伝える事で地元愛が生まれると思うので続けて欲しいです。サプライズ花火に関しては有志の会以外に関わった人たちをもっと紹介して欲しいです。

<伊藤香代委員>

皆さんの意見と大体一緒になってしまいますが、100歳の方は本当にお元気ですね。

人生100年時代ということで私たちもこの元気は見習わないといけないと感じました。鈴木さんは「まだこれからよ」とおっしゃっており、その意気を学ばせていただきました。妻木平遺跡に関しましては土岐市に太古のロマンあふれる場所がある!とこの番組で知る事が出来ました。多治見から広域でのウォーキングイベントなどが出来るかもとヒントがいただける番組でした。一瞬のサプライズ花火も番組にすると見返す事ができます、良い企画ですね。

<宮浦委員長>

本当に100歳の方は元気でしたね。インタビューでひ孫は何人いるか聞いても面白かったかも。妻木平遺跡はなぜ鎌倉時代と分かったのか聞くと面白かったのではないのでしょうか。土岐、瑞浪のサプライズ花火は日程を同じにするなど合同企画ですね。こういった連携企画は今後もあるかと思いますので取り上げていくといいと思います。

【事務局】

マイクマンは長年活躍しているキャラクターです。視聴者からの情報提供により何う事が多く、この100歳の鈴木さんの情報もお仲間から寄せられました。旬な情報を届けられる柔軟なコーナーですので、今後もいただいた情報に加えこちらからも情報を探して続けていきたいです。

3) おりべ情報局「テーマ型特集」

<伊藤委員>

レンタサイクルは全国的にも旬な題材だと思います。多治見市も広報で特集を組みました。取り上げていただいてうれしいです。国際陶磁器フェスティバルはコロナの関係で会期が短縮され、イベントも縮小開催となりました。高校生など次世代が参加してのイベントを取り上げ、その心意気を取材していただいたので嬉しいです。多治見空襲について調べている鬼頭さんは多治見市の職員です。吉田さんと繋がりをもちこのような形になりました。吉田さんとテレビで再会でできて嬉しく思います。

<林委員>

コロナ禍のため、遠い場所へ観光に行くことが出来なくなったので、近場を深掘りするにはレンタサイクルは時代に即しています。レポーターも上手で楽しく見ました。タイルデザインに関しては、自分がタイル自体に知識がないのでタイルそのものに興味を持たせるという構成でも良かったかと思います。多治見空襲を語り継ぐことはとても重要な話だと思います。東京大空襲など大きな話は残っていますが、小さな場所で起こった戦争の話は次の世代に伝わっていかないので意義深い番組を作られたと感じます。

<加藤委員>

レンタサイクルは自動車等では気付かない多治見の魅力と電気自転車の魅力と合わせて分かりやすく伝えた番組でした。レンタサイクルは観光に特化しただけでなく災害時にも役立つと注目されているので今後の活用が期待されます。タイルデザイン甲子園は知りませんでした。面白いイベントだと感じました。多治見空襲は実験に基づく語り部のお話を聞いて平和の大切さ命の尊さが小さな子にも分かる内容となっていました。次の世代に引き継いでいく大切さが伝わってきました。

<浅井委員>

流行のレンタサイクルが多治見にあるのは良いと思いました。自転車の説明が長く、それより、レンタサイクルならではの行き先の提案などがあると良いと思いました。タイルデザイン甲子園は参加した高校生の話が聞けて良かったですが、タイルの魅力についてもっと説明があると番組に入りやすかったのではないかと思います。多治見空襲を語り継ぐ方たちはなぜ活動しているのかという思いが見えて伝わってきました。

<竹内委員>

レンタサイクルを使って、自転車だからこその行ける場所を紹介しており、多治見に観光に来る人に利用してもらいたいと思いました。タイルデザイン甲子園については自分もタイルにはあまり詳しくありませんが、地場産業に関わる人たちが次世代に繋げる努力をしていると知る事が出来良かったです。陶磁器フェスティバル自体を地元の人が行きたくくなるようなイベントにしていく必要を感じます。多治見空襲については、今のうちに映像を残す事は地域のテレビ局として大切な事であると思います。戦争や、その後の復興について特集したり、当事者の話を聞いて残して欲しいです。

<宮浦委員長>

レンタサイクルは自転車の動きを上手に捉えていて感心しました。良い番組になっていたと思います。タイルは昔、外壁タイルが有名でしたが、現在はデザイン性の高い内装タイルが注目を浴びています。その点を上手く紹介すると良かったかもしれません。多治見空襲は体験者が亡くなられ、語り継ぐ方々には敬意を表しますし、引き継ぐ人を育成していく事が大切と感じました。

【事務局】

多治見空襲につきましては、今で無いと残せない、担当者が力を入れて制作しました。小泉地区の小中学生にこの番組を見てもらいたかったので学校に声掛けしていきたいです。タイルデザイン甲子園については、タイルそのものを知る機会が無いと知りましたので、興味を持ってもらえる様な番組を作りたいと思います。

以上